

協議事項1

令和3年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

..... P 1

協議事項2

令和4年度あわら市国民健康保険特別会計予算(案)について

..... P 2～6

あわら市市民生活部市民課

令和3年度 あわら市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳出補正額	41,124 千円
--------------	------------------

(単位：千円)

科目	予算現額 (A)	補正額 (B)	計 (B) + (A)	増減の主な要因	
保険給付費	一般分	2,196,810	30,000	2,226,810	高齢化や医療費の高度化による保険給付費の増
	出産育児 ・葬祭費等	6,703	0	6,703	
	審査支払手数料	5,858	0	5,858	
		2,209,371	30,000	2,239,371	
国民健康保険事業納付金	699,588	0	699,588		
保健事業費	29,484	△ 3,500	25,984	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う疾病予防事業縮小による減	
総務費	56,387	△ 282	56,105	システム改修費の減	
基金積立金	1	58	59	国民健康保険基金利子分の積み立てによる増	
償還金	299	14,848	15,147	・保険給付費等交付金の精算(過年度分)に伴う増 普通交付金分 13,632 特別交付金分 1,216	
その他支出	4,513	0	4,513		
歳出合計	2,999,643	41,124	3,040,767		

歳入補正額	41,124 千円
--------------	------------------

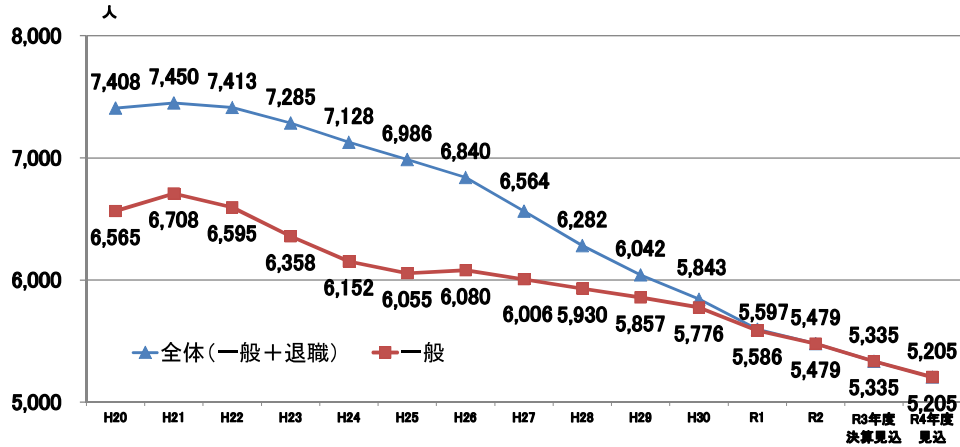
(単位：千円)

科目	予算現額 (A)	補正額 (B)	計 (B) + (A)	増減の主な要因	
保険税	現年度分	470,400	△ 1,300	469,100	新型コロナウイルス感染症の影響による国保税減免措置による減
	滞納繰越分	19,820	0	19,820	
	490,220	△ 1,300	488,920		
国庫支出金	1	780	781	新型コロナウイルス感染症の影響による国保税減免措置に対する国庫補助金(6/10)の受け入れに伴う増	
県支出金	2,249,593	28,096	2,277,689	・新型コロナウイルス感染症の影響による国保税減免に対する県補助金(4/10)の受け入れに伴う増 520 ・税制改正システム改修補助(10/10) 1,076 ・保険給付費の減に伴う交付金の増 30,000 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う疾病予防事業縮小による減 △3,500	
一般会計繰入金	201,904	△ 583	201,321	・保険基盤安定繰入金の額の確定に伴う増 775 ・制度改正システム改修補助分 △1,358	
基金繰入金	50,000	△ 40,000	10,000	前年度繰越金額の確定に伴う基金繰入金の減	
繰越金	2	44,109	44,111	前年度繰越金額の確定に伴う増	
その他収入	7,923	10,022	17,945	・保険給付費精算(過年度分)に伴う国保連合会からの返還金の増 9,964 ・基金利子分の増 58	
歳入合計	2,999,643	41,124	3,040,767		

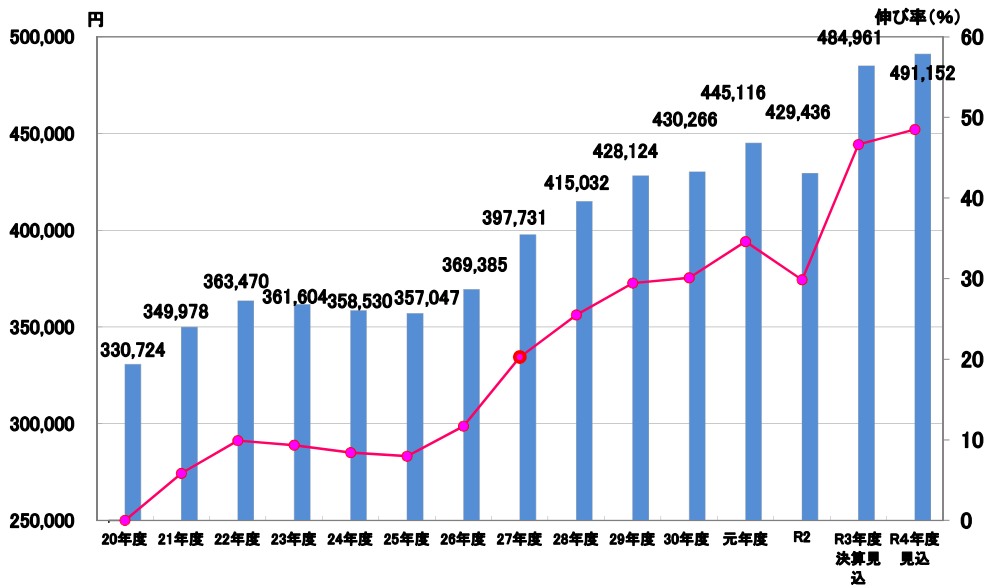
令和4年度 あわら市国民健康保険特別会計予算 予算の概要について

① あわら市国民健康保険 被保険者数・医療費の推移

○ 被保険者数の推移（年度平均）



○ 一人あたりの年間医療費の推移（一般＋退職）



② 国民健康保険税の制度改正(国の動向)について

令和4年度制度改正について(令和3年12月24日閣議決定)

(1) 賦課(課税)限度額について

	現行	改正
基礎課税額(医療分)	63万円	65万円
後期高齢者支援金等課税額	19万円	20万円
介護納付金課税額	17万円	17万円
賦課限度額	99万円	102万円

(2) 子どもに係る国民健康保険税の均等割額の減額措置の導入

見直しの概要

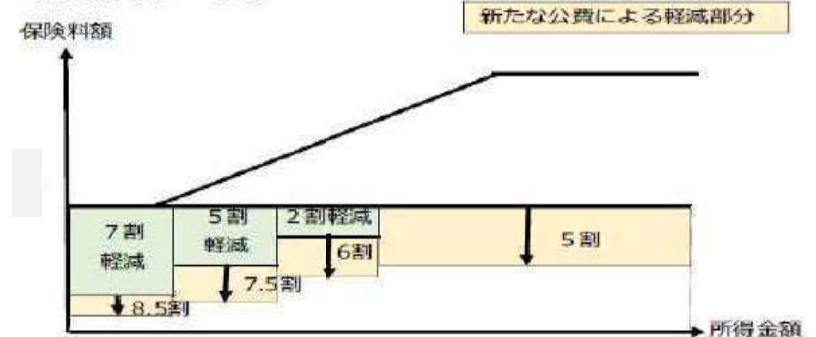
国民健康保険制度の保険税は、応益(均等割・平等割)と応能(所得割・資産割)に応じて設定されている。その上で、低所得者世帯に対しては、応益保険税の軽減措置(7・5・2割軽減)が講じられている。

子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国・地方の取り組みとして、国保制度において子どもの均等割保険税を軽減する。

見直しの詳細

- ★対象は、全世帯の未就学児。
- ★当該未就学児に係る均等割保険税について、その5割を公費により軽減する。
- ★財政影響：公費約90億円(令和4年度)
- ★国・地方の負担割合：国1/2、都道府県1/4、市町村1/4
- ★施行時期：令和4年4月

【軽減イメージ】

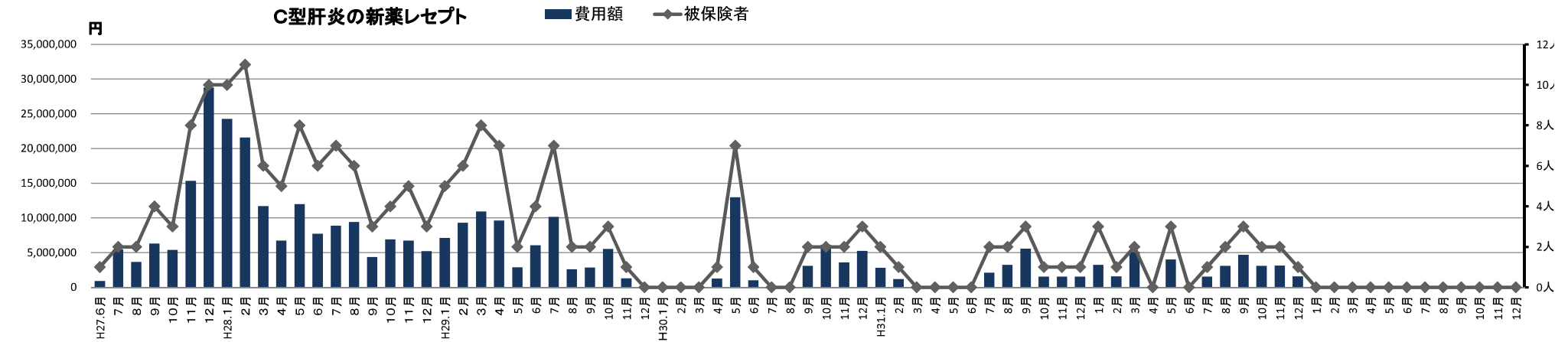


③ C型肝炎の新薬について

令和4年2月末現在

C型肝炎新薬：		H30.4月～	R2.4月～
(H27.5月発売) ソバルディ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：61,800円	→ 同左 → 43,010円
(H27.9月発売) ハーボニー錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：80,170円	→ 54,690円 → 55,490円
(H27.11月発売) ヴィキラックス錠	1日1回、2錠/回	1日薬価：53,600円	→ 販売中止 → 販売中止
(H28.11月発売) エレルサ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：26,900円	→ 25,980円 → 25,480円
(H29.11月発売) マヴィレット錠	1日1回、3錠/回	1日薬価：72,540円	→ 54,420円 → 55,370円
(H31.2月発売) エブクルーサ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：61,160円	→ 61,160円 → 同左

◆月の初めと終わりに受診する場合は、1件200万円を超える場合がある。
 ◆H29.11月発売のマヴィレット錠は、すべてのジェノタイプ(1~6型)に適用。
 ◆H31.2月発売のエブクルーサ錠は、C型非代償性肝硬変にも適用。



月	H27.6	令和2年度会計												令和3年度会計											
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R2.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
被保険者(人)	1	2	0	3	0	1	2	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
費用額(千円)	916	5,089	0	3,997	0	1,552	3,073	4,664	3,107	3,129	1,571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
累計人数(人)	1	75	75	76	76	77	78	80	81	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82		
累計費用額(千円)	916	322,523	322,523	326,520	326,520	328,072	331,145	335,809	338,917	342,045	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616	343,616		

【新薬服薬者 累計 実82人 (H27.6月～) の内訳】

ソバルディ錠	19人	ハーボニー錠	22人	ヴィキラックス錠	15人	エレルサ錠	11人	マヴィレット錠	14人	エブクルーサ錠	1人
--------	-----	--------	-----	----------	-----	-------	-----	---------	-----	---------	----

④ 令和4年度 国保事業費納付金の算定について

令和4年度 福井県国保会計(前年度比)

歳出

保険給付費等

〔 後期高齢者
支援金
介護納付金 〕

▲18億円

※過去3年間の医療費実績等に基づき算出

歳入

前期高齢者
交付金

▲25億円

公費等(県単位)
+9億円

公費等(市町単位)

保険料必要額

【国保事業費納付金の算定方法】

- ・各市町の納付金額は、県全体の納付金総額を市町ごとの「被保険者数」と「所得水準」で按分し、それぞれに「医療費水準」を反映することにより算定される。
- ・高額医療費の共同負担化(令和3年度から新規)

前期高齢者交付金

(負担の大きい前期高齢者の医療費を被用者保険からの交付金で充当する制度) 当該年度に概算で交付され、2年前の実績を精算。算定で用いる伸び率の乖離により、年度による交付額の変動が大きい。

前期高齢者交付金(県全体)

(億円)

あわらし納付金 (千円)

	交付額	前年比
H30年度(H30概算±H28精算)	約262	—
R1年度(R1概算±H29精算)	約235	△27
R2年度(R2概算±H30精算)	約244	+9
R3年度(R3概算±R1精算)	約262	+18
R4年度(R4概算±R2精算)	約237	△25

当初予算	前年比
約666,000	—
約790,000	+124,000
約741,000	△49,000
約700,000	△41,000
約687,000	△13,000

納付金総額(県全体) ▲2億円

令和4年度 公費交付予定

【激変緩和措置】

- ・R4年度 福井県激変緩和財源【総額 2.7億円】

(内訳：国調整交付金 0.7億円、県繰入金 1.5億円(9%のうち0.4%)、特例基金 0.5億円(全額活用))

- ①R4年度1人当たり保険料必要額が、H28年度(制度改革前)と比較して一定割合を超えて伸びている市町に対し、一定割合まで激変緩和財源を投入し、保険料負担を抑制(0.2億円) → 対象3市町
- ②保険料負担を緩和するため、残額を該当市町に配分(2.5億円) → あわらし分 約 9,800千円 (参考：R3 約 11,400千円)

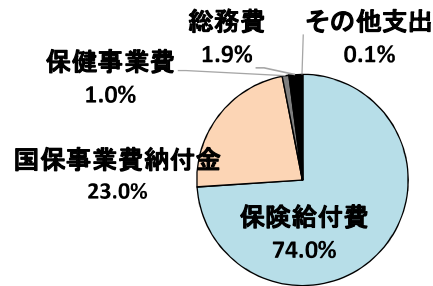
【決算剰余金】 納付金・標準保険料の急激な上昇に備え、年度間の標準化を図るために活用する。

令和4年度は、標準保険料の伸び率を一人当たり医療給付費の年平均伸び率(2.4%/年)まで抑制し、納付金・標準保険料の年度間調整を図る。【約 10.3億円(県R3年度末 決算剰余金見込額 26.4億円)】 → あわらし分 約 40,000千円 (参考：R3 約 16,000千円)

など

⑤令和4年度 あわら市国民健康保険特別会計予算

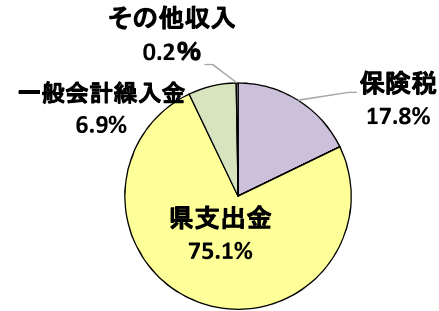
歳出予算額 2,988,200 千円



(単位：千円)

科目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	(A) - (B)	増減の主な要因	
保険給付費	療養給付費等分	2,196,810	2,196,810	0	
	出産育児・葬祭費	6,703	6,703	0	
	審査支払手数料	6,274	5,858	416	国保連手数料単価改定による増 @66.7円 → @71.97円 (約86,000件/年)
	2,209,787	2,209,371	416		
国保事業費納付金	686,810	699,588	△ 12,778	国保事業費納付金(県算定)の減 参考・県決算剰余金の活用 10.3億円 ・診療報酬改定の影響等	
保健事業費	29,549	29,484	65	国保連手数料単価改定による増 @125.72円 → @141.36円 参考・特定健診データ管理料 対象者 約4,600人	
総務費	57,420	58,944	△ 1,524	職員給与等との減 △1,660 38,577 → 36,917	
その他支出	4,633	4,812	△ 179	退職者被保険者納付金精算金の減 299 → 120	
基金積立金	1	1	0		
歳出合計	2,988,200	3,002,200	△ 14,000		

歳入予算額 2,988,200 千円



(単位：千円)

科目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	(A) - (B)	増減の主な要因	
保険税	現年度分	512,600	470,400	42,200	参考 新型コロナウイルス感染症の影響による 国保税収入減を見込み算定(R3)
	滞納繰越分	19,920	19,820	100	滞納繰越見込額の増
		532,520	490,220	42,300	
国庫支出金	106	1	105	マイナンバーカード健康保険証利用普及 啓発に対する補助分	
県支出金	2,242,763	2,249,593	△ 6,830	特別交付金(2号分)の事業評価指標変更 による減 (がん検診受診率基準 県独自 → 国統一)	
一般会計繰入金	204,989	204,461	528	・未就学児均等割軽減繰入分の増 1,009 (未就学児に係る均等割保険税の5割 を、公費により軽減) ・職員給与等繰入分の減 △1,660	
その他収入	7,822	7,925	△ 103	・督促手数料 200 → 150 ・特定健診個人負担金 519 → 466	
基金繰入金	0	50,000	△ 50,000	国保事業費納付金(県算定)の減	
歳入合計	2,988,200	3,002,200	△ 14,000		

⑥国民健康保険基金の状況

(令和4年2月末現在)

(単位:千円)

	H23 決算額	H24 決算額 税率改定	H25 決算額	H26 決算額	H27 決算額	H28 決算額	H29 決算額	H30 決算額 県単位化	R1 決算額 税率改定	R2 決算額	R3(3月補正後) 見込額	R4(当初予算) 見込額	
一般会計繰入金 (法定外)	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
基金繰入金	当初予算	0	0	60,000	90,000	130,000	30,000	146,000	0	46,000	50,000	50,000	0
	補正予算	115,585	0	△ 60,000	△ 55,000	△ 61,000	△ 30,000	△ 146,000	0	△ 36,000	△ 20,000	△ 40,000	
	予算現額	115,585	0	0	35,000	69,000	0	0	0	10,000	30,000	10,000	0
	決算額	115,585	0	0	0	50,000	0	0	0	10,000	30,000		
基金積立	決算額	196	80,000	160,184	548	556	40,165	76,934	215,046	578	414	59	1
基金残高	決算額	0	80,000	240,184	240,732	191,288	231,453	308,387	523,433	514,011	484,425	474,484	474,485